

ちよう おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力及びその確保

- おおい町^{ちよう}において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、合計**57人分**:バス**2台**。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南^{れいなん}地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜おおい町において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ^{※1}	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	57人	2台	バス1台当り45人程度の乗車を想定【資料P42】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜おおい町における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		2台	
(B) 確保車両台数		2台	
確保先	バス会社[福井県嶺南 ^{れいなん} 地方]	1台	保有車両台数 バス173台
	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

- 小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民27人分：バス1台。
- 全面緊急事態発生時には、福井県嶺南地方のバス会社が保有する車両のほか、関西電力が配備する車両により、必要車両台数を確保。
- 車両及び運転者については、福井県バス協会等の協力により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

＜小浜市において全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数 ※1	必要車両台数	備考
自家用車で避難ができない住民	27人	1台	1台当り45人程度の乗車を想定【資料P42】

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

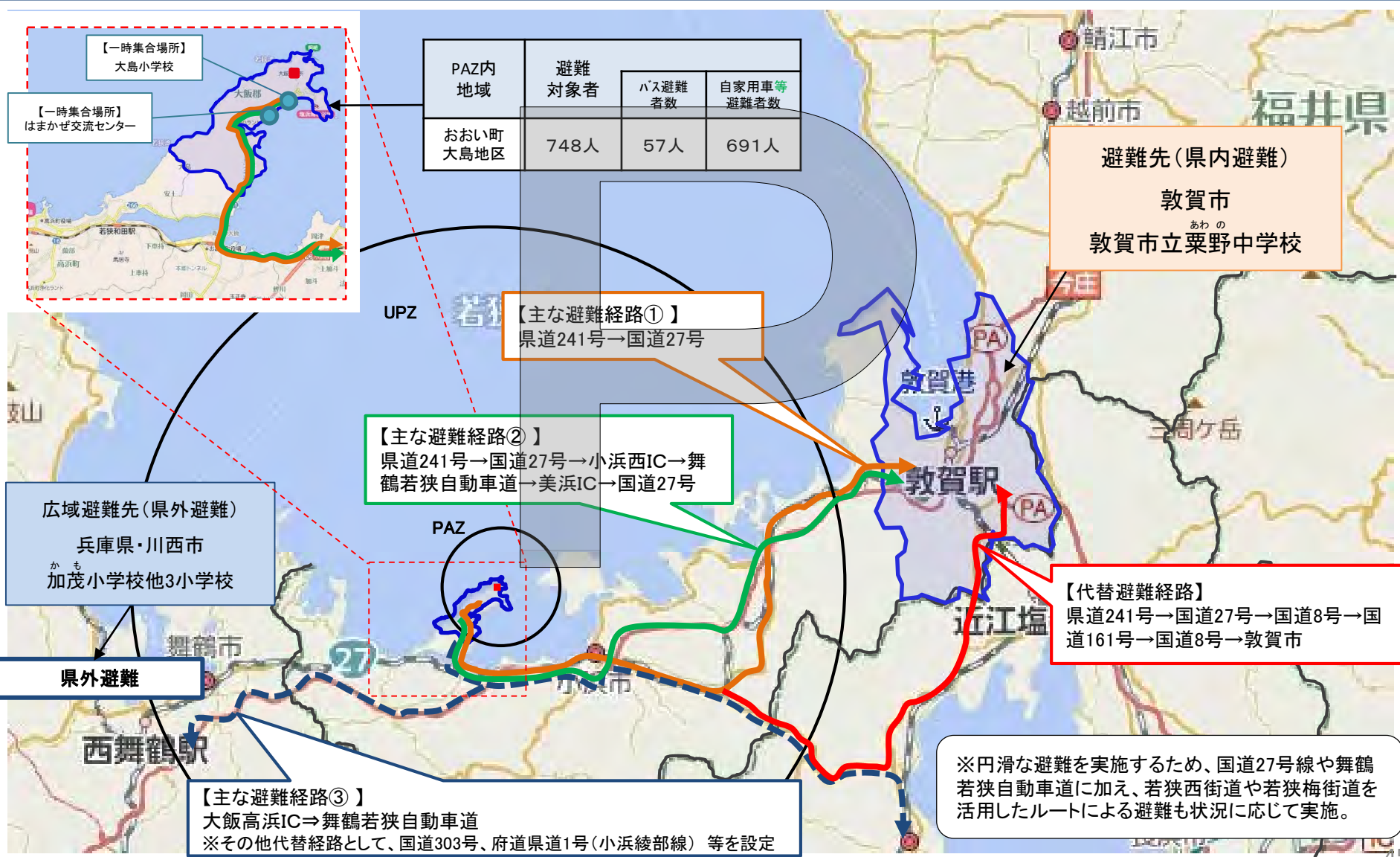
＜小浜市における全面緊急事態での輸送能力の確保＞

		確保車両台数	備考
		バス	
(A)必要車両台数		1台	
(B)確保車両台数		1台	
確保先	関西電力	1台	保有車両台数 バス9台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)に支援を要請

ちよう おい町大島地区から避難先施設までの主な経路

- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で避難先まで避難を実施。



- 地域毎にあらかじめ避難経路を設定。自然災害等により避難経路が使用できない場合は、他のルートより避難を実施。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等で一時集合場所に集まり、福井県等が配車した車両で、避難先まで避難を実施。



PAZ内 地域	避難 対象者	避難者数	
		バス避難 者数	自家用車等 避難者数
おぼまし 小浜市 うちとみ 内外海地区 とまり かつみ (泊、堅海)	269人	27人	242人

【主な避難経路①】
 国道162号→県道22号→若狭梅街道→国
 道27号→敦賀IC→北陸自動車道→武生IC

避難先(県内避難)
 越前市
 武生商業高等学校

広域避難先(県外避難)
 兵庫県・姫路市
 夢前ふれあいの館フレンデ

県外避難

【主な避難経路②】
 国道162号→小浜IC→舞鶴若狭自動車道
 →北陸自動車道→武生IC

【代替避難経路】
 国道27号→国道303号→国道161号→国道8号
 →敦賀IC→北陸自動車道→武生IC

【主な避難経路③】
 国道162号→県道24号→小浜IC→舞鶴若狭自動車道→中国自動車道
 →福崎IC下車
 ※その他代替経路として、国道303号等を設定 303

※円滑な避難を実施するため、国道27号や舞鶴若狭自動車道に加え、若狭梅街道を活用したルートによる避難も状況に応じて実施。